



# 水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました



流水調整課

H28.11.24

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立四箇郷小学校5年生**の皆さんが、二日間に分かれて見学に来られました。

紀の川大堰に徒歩で来られる地元小学校のひとつで、学校から歩いての見学でした。

当事務所からは流水調整課の職員が対応し、紀の川大堰の必要性や役割について説明しました。紀の川のことについての質問もたくさんあり、これまでの大きな災害や今後の防災についてなどしっかりと学ぶ姿が見られました。

## 団体見学概要

日 時： 平成28年11月22日(火)、24日(木)

14:00 ~ 15:00

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数： 計62名(生徒59名、先生3名)

団体名： 和歌山市立四箇郷小学校5年生

### 1. 館内の見学



みんなで挨拶をして、  
見学が始まります

2階操作室をガラス越しに見学。

六面の大きなモニター  
や機械が並んでいます。





3階展望デッキでは、紀の川大堰を見ながら、大堰の役割や必要性についての話を熱心に聞いています。



ぼくたちの学校はどこだ？

1階展示室の床面航空写真をじっくりと眺める皆さん。

紀の川にはこんなに水害の歴史があるんだね。  
洪水も浸水も怖いなあ。



## 2. 館外の魚道見学



きらめき館から徒歩3分の魚道観察室に出発！



階段を降り、分厚い扉をくぐったら...



残念！今日は魚が泳いでいるのは見えないなあ

人工河川式魚道をのぞいてみると、たくさんのボウや鯉などが見られました。



階段式魚道もデニバチ魚道も魚が行き来しているのが見えました。

## 質問

Q1. 紀の川大堰は、大雨になったとき洪水にならないようにどんなことをしているの？

A1. 大雨の時は、普段は川に降ろして水をせき止める役割を果たしている「主ゲート」を上げて、大量に流れてくる川の水を安全に海まで流しています。

Q2. 主ゲートはたくさん水が流れてきたらすぐに上げれるの？

A2. いいえ。493トンもある主ゲートを一番上まで引き上げるには44分ほどかかるので、2階の操作室のコンピューターで、川の上流でどれだけ雨が降っているのか、紀の川大堰までその水が流れてくるまでどれだけの時間がかかるのかなどを常に監視しているのです。

